

ガス栓をご使用になるみなさまへ

消費者様用

LPガス用フレキ直接続・検査孔付UI・ULガス栓取扱説明書

型式・・・FCKC-2SP-10A, 15A, FCKC-2LP-10A, 15A

この説明書は、LPガス用フレキ直接続・検査孔付UI・ULガス栓の取扱方法について説明いたします。よくお読みのうえ、ご使用ください。

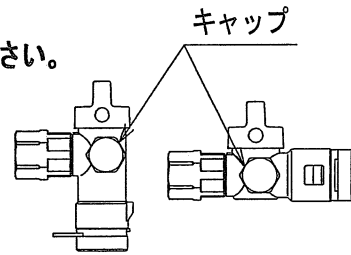
本文中の絵表示には、次のような意味があります。

⚠ は、注意 この表示を無視して、誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⊘ は、禁止

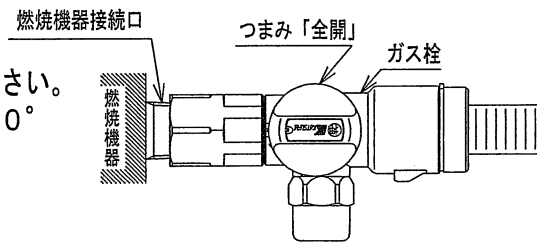
❗ は、必ず行う

- ⊘ ガス栓に物を落としたり、つまみなどに過大な力を加えたりしないでください。
- ⊘ ガス栓を取りはずしたり、分解などしないでください。
- ⊘ キャップは、絶対にはずさないでください。
- ⊘ ガス栓に水、お湯、洗剤などがかからないようにしてください。
- ⚠ ガス栓の清掃は、乾いた布で乾拭きしてください。
(洗剤、漂白剤、溶剤(シンナー等)は、使わないでください。)
- ⚠ ガス栓のつまみが回らないときは、LPガス販売業者に連絡してください。
- ⚠ 不用意にガス栓が閉まってしまうことをさけるために、付近には物を置かないでください。
- ⚠ 燃焼機器を撤去するときは、LPガス販売業者に連絡し、工事を依頼してください。
- ⚠ ガス漏れなどの異常が発見されたときにはガスの使用を中止し、LPガス販売事業者へ直ちに連絡してください。

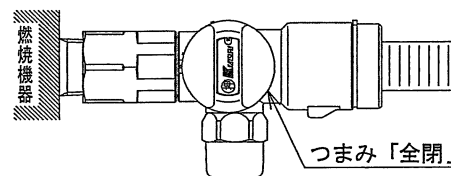


1. ガス栓の使用法および注意

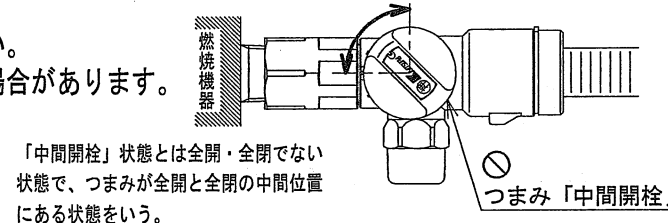
- ⚠ ガスを使用されるときはつまみを「全開」状態にしてください。
・つまみを「全開」状態から、左(反時計回り方向)へ約90°押し回すとガスが使用できます。



- ⚠ ガスを使用されないときはつまみを「全閉」状態にしてください。
・つまみを「全開」状態から、右(時計回り方向)へ止まるまで約90°回すとガスが止まります。



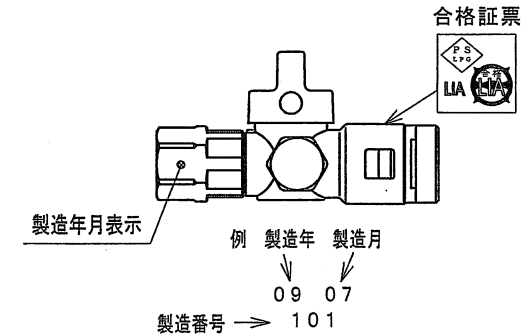
- ⊘ つまみを「中間開栓」状態にしないでください。
・ガスの流れが少なくなり、正常に燃焼しない場合があります。



(※必ず裏面もお読みください)

2. 交換期限・保証書

- ・ガス栓は、適合性検査合格品です。
- ・この製品の交換期限は製造後15年以内です。また、交換期限内でも性能等に異常が生じたときは新しいガス栓と交換してください。(製造年月は、ガス栓に表示してあります。)
- ・保証書は、保証期間などが明記されております。必ず受け取り、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。



ガス販売事業者名

- ・このガス栓について、お気づきの点、ご不明な点などがございましたら、LPガス販売事業者、または桂精機製作所までご連絡ください。

販売店

株式会社 桂精機製作所

本社：〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
(アーバンスクエア横浜)

TEL 045-461-2334

工事施工者・ガス販売事業者のみならずへ

工事施工者・ガス販売事業者様用

LPガス用 フレキ直接継・検査孔付UI・ULガス栓取付説明書

型式・・・FCKC-2SP-10A, 15A, FCKC-2LP-10A, 15A

・この説明書は、LPガス用フレキ直接継・検査孔付UI・ULガス栓の取り付け方法について説明いたします。
 ・よくお読みのうえ、正しく工事を行ってください。
 本文中の絵表示には、次のような意味があります。

⚠ は、注意 この表示を無視して、誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⊘ は、禁止

❗ は、必ず行う

- ・このガス栓は、固定式燃焼機器（給湯器、ガスレンジ）用の末端ガス栓です。
- ・このガス栓の入口側に、フレキ管を直接接続してください。
- ❗ このガス栓は、適合性検査合格品です。合格証票を確認してください。
- ⚠ このガス栓の取付工事は、液化石油ガス設備士の資格を有する方が工事を行ってください。
- ⊘ このガス栓は、LPガス専用です。LPガス設備以外には使用しないでください。
- ⊘ このガス栓は、地中埋設用には使用しないでください。
- ⊘ このガス栓は、移動式燃焼機器、動かされるおそれのある機器、パーナーなどが取りはずされる機器には使用しないでください。（設置場所、適用ガス燃焼器は下表-1を参考にしてください。）

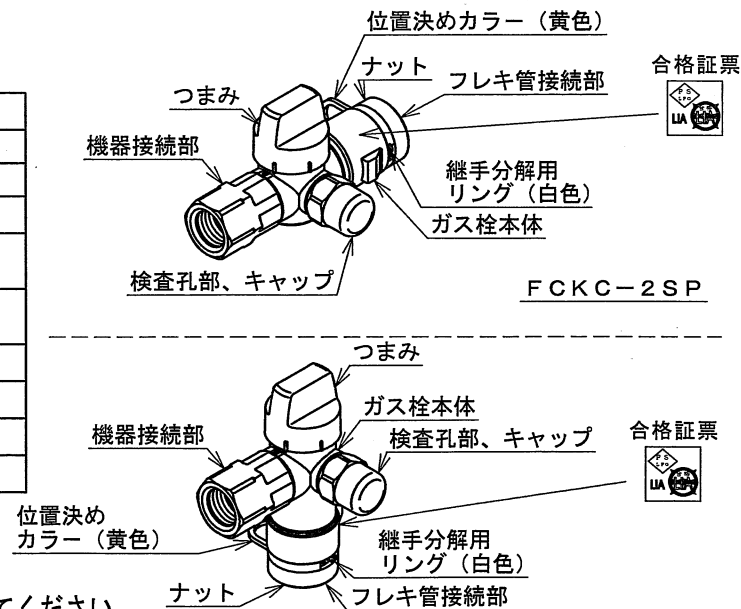
設置場所	適用ガス 燃焼器	ガスふろ 給湯器	ガス貯湯 湯沸器	ガス レンジ	ガス キャビネット	ガス ルームエアコン 室外機	ガス ふろがま	業務用 機器	FF式 ストーブ
屋内	○	○	○	○	○	△	×	×	×
屋外	○	○	○	△	○	○	○	△	△

表-1

- ⊘ 取扱時、つまみなどに過大な力や、落下などの衝撃を加えたガス栓は、使用しないでください。
- ⊘ 分解・改造して取り付けしないでください。
- ⊘ 火災や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。
- ⊘ 浴室等、常時多量の水がかかりやすい場所や有害ガス（アンモニア、亜硫酸ガスなど）がある場所、またはそのおそれのある場所には設置しないでください。
- ⊘ ガス栓には、ガスの流れ方向を矢印（→）で表示してあります。ガスの入口側、出口側を間違えないように接続してください。

1. 仕様及び各部の名称

項目	主な仕様
接続	入口側 フレキ管接続口 10A, 15A
	出口側 Rc1/2
寸法	検査孔部 コンセント
使用可能燃焼器	52.1kW以下
空気流量	2300 l/h以上 (圧力損失0.1kPaのとき)
使用ガス	LPガス
使用温度範囲	-10℃~70℃
使用圧力範囲	2.3kPa~3.5kPa
つまみ操作	押し回し90°回転



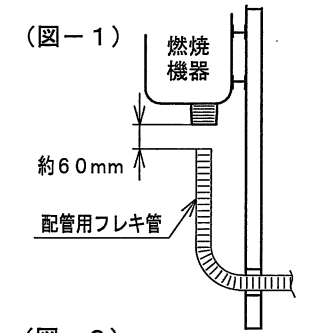
2. 取付例

取付例は、P3（裏面）、図-7を参照してください。

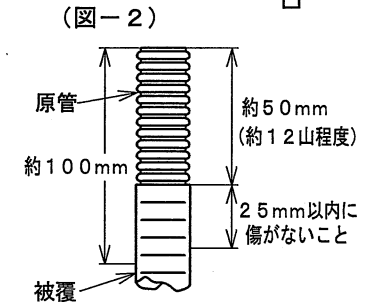
3. 施工手順

1) フレキ管の接続

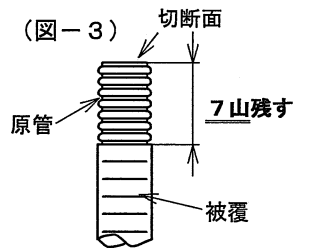
- ①フレキ管を燃焼機器接続口付近まで引き出してください。（図-1）
- ②フレキ管の先端から約100mmをまっすぐにしてください。（図-2）
 ⚠ 曲がっていると切断不可や挿入不良の原因になります。
- ③フレキ管の被覆を専用の被覆カッター（別売）を使用して約50mm（約12山程度）はぎ取ってください。
 ⚠ 他の工具の使用はフレキ管に損傷を与え、施工不良やガス漏れの原因となります。



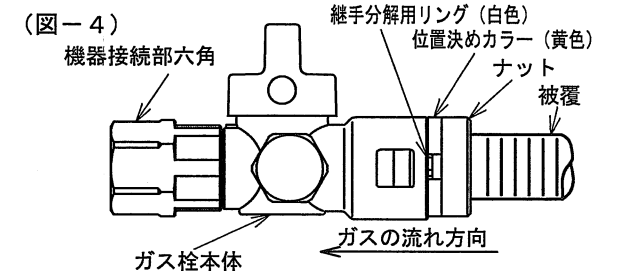
- ④はぎ取り部から25mm以内の被覆上に傷がないことを確認してください。
 ⚠ 被覆上に傷があると、水密性が損なわれる可能性があります。
- ⑤フレキカッターで原管を7山残して切断してください。（図-3）
 ⚠ フレキ管の一部が切れずに残った場合は、折る様にして切り離してください。



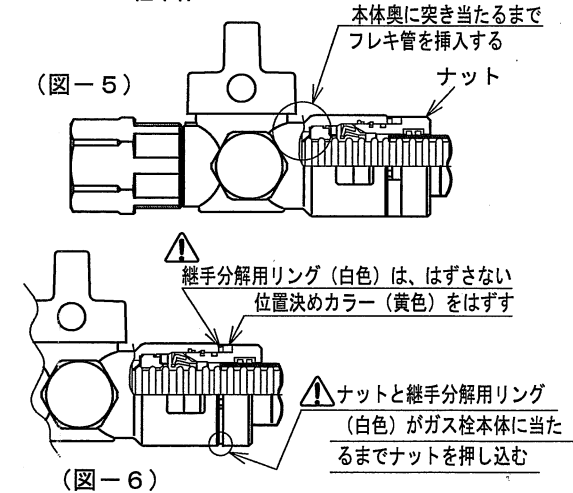
- ⑥切断面のめくれ（バリ）、へこみ、扁平、欠損、山潰れ（一部及び全周）などがないことを確認してください。
 ⚠ 切断面にめくれ（バリ）、へこみ、扁平、欠損、山潰れ（一部及び全周）などがあると、挿入不良及びガス漏れの原因となります。
- ⑦フレキ管を挿入する前に、位置決めカラー（黄色）と継手分解用リング（白色）が、ガス栓本体とナットの間の所定位置にあることを確認してください。（図-4）
 ⚠ 位置決めカラー（黄色）及び継手分解用リング（白色）がはずれてしまうと、ガス栓へのフレキ管接続不良となり、ガス漏れの原因となります。



- ⑧フレキ管をガス栓本体のフレキ管接続口の奥に突き当たるまで、挿入してください。奥に突き当たる時は、音又は感触によりフレキ管が挿入されたことが確認できます。（図-5）
 ⚠ フレキ管挿入時、ナット内面に触れないように管軸に対し、まっすぐに力を加えてください。
- ⑨フレキ管をまっすぐ引っ張り、抜けないことを確認してください。管軸方向に挿入力程度の力でまっすぐ引っ張り、抜けなければ正常です。（図-5）
 ⚠ フレキ管が抜けた場合、もう一度突き当たるまでフレキ管を挿入してください。



- ⑩位置決めカラー（黄色）をはずしてください。（図-6）
 ⚠ 継手分解用リング（白色）は、はずさないでください。はずしますと、ナットが抜けてガス漏れの原因となります。
- ⑪ナットと継手分解用リング（白色）がガス栓本体端面に突き当たるまでナットを押し込んでください。
 ⚠ ナットと継手分解用リング（白色）がガス栓本体端面に突き当たっていない場合、ナットが抜け出しガス漏れの原因となります。



- ⑫これでガス栓とフレキ管の接続は完了です。
 ⚠ ガス栓本体のフレキ管接続部は再使用禁止です。再使用しますと、ガス漏れの原因となります。

（※必ず裏面もお読みください）

2) ガス栓と燃焼機器の施工方法

①燃焼機器の取り付けねじ部先端の切粉、ゴミなどの異物を完全に除去し、先端から2山残し全周にわたり耐LPガス性不乾性シール剤を塗布してください。(図-7)

⚠ シール剤がガス栓内に入らないように注意してください。

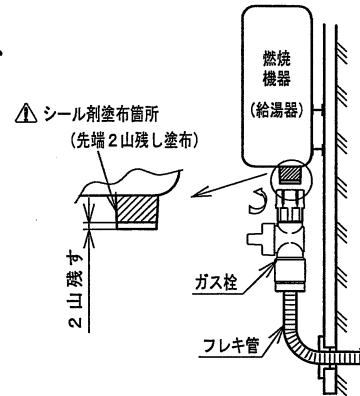
⊖ シールテープは使用しないでください。

②ガス栓のねじ込み側の六角部二面幅(27mm)にスパナ、モンキーレンチを正しくかけて締め込んでください。

⊖ パイプレンチ、プライヤーをガス栓にかけないでください。

⚠ 無理な締め込みをした場合、変形が生じ、ガス漏れの原因となります。(最大締め付けトルク 35N・m)(図-8)

● 燃焼機器と接続されないガス栓の出口には、金属栓を取り付けてください。



(図-7) ガス栓取付例

4. 気密試験及び操作確認

①取付終了後は、法定の気密試験を行ってください。

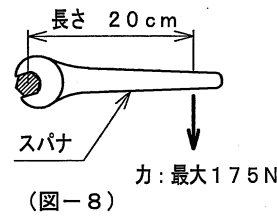
②ガス栓の開閉操作がスムーズであることを確認してください。

③確認後つまみを「全閉」にしてください。

5. 検査孔を使用した試験方法

⚠ 出荷時キャップがガス栓に取り付いた状態になっています。漏えい試験など、必要なとき以外は取りはずさないでください。

・検査孔を使用した気密試験、漏えい試験、エアーパージ、検査孔部の漏えい確認方法を説明いたします。
 気密試験とは : 8.4kPa~10kPaの空気圧で、配管内の気密性が保たれているか調べる試験です。
 漏えい試験とは : 空気または液化石油ガスにより使用圧力を超え、5.5kPa未満の圧力に加圧し、配管内の気密性が保たれているかを調べる試験です。



1) 気密試験

[上流片検圧]・ガス栓より上流側の気密を調べます。

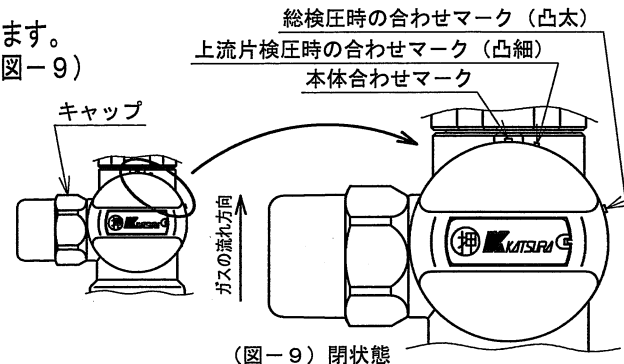
①ガス栓のつまみを「閉」にしてください。(図-9)

②キャップを手で取りはずしてください。

③圧力測定用ホースのついたソケットを取り付けてください。(図-10)

④ガス栓のつまみを「上流片検圧」にしてください。(図-10)

⑤気密試験を行ってください。



(図-9) 閉状態

2) 漏えい試験

[総検圧]・ガス栓より上流側および下流側の漏えいを調べます。

①ガス栓のつまみを「閉」にしてください。(図-9)

②キャップを手で取りはずしてください。

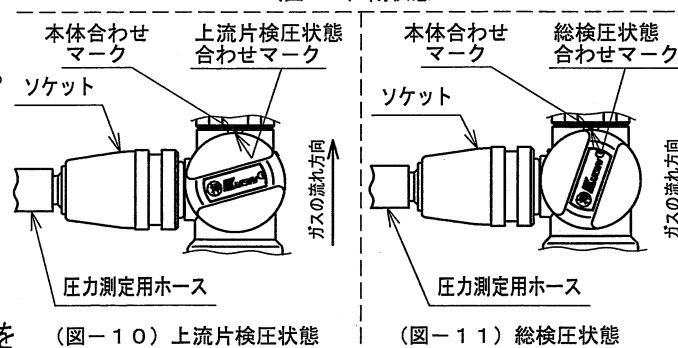
③圧力測定用ホースのついたソケットを取り付けてください。(図-11)

④ガス栓のつまみを「総検圧」にしてください。(図-11)

⑤漏えい試験を行ってください。

[上流片検圧]・ガス栓より上流側の漏えいを調べます。

①上記1) 気密試験 [上流片検圧] の①~⑤と同様の操作を行い、漏えい試験を行ってください。



(図-11) 総検圧状態

(図-10) 上流片検圧状態

3) 燃焼圧力測定

[総検圧]

①ガス栓のつまみを「閉」にしてください。(図-9)

②キャップを手で取りはずしてください。

③圧力測定用ホースのついたソケットを取り付けてください。

④ガス栓のつまみを「総検圧」にして、燃焼圧測定を行ってください。(図-11)

4) エアーパージ

[総検圧]

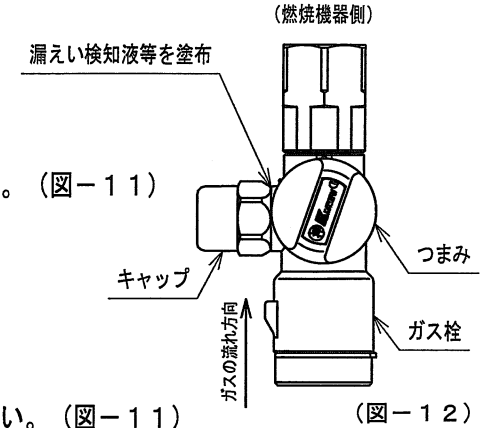
①ガス栓のつまみを「閉」にしてください。(図-9)

②キャップを手で取りはずしてください。

③ソケットを、取り付けてください。

④ガス栓のつまみを「総検圧」にして、エアーパージを行ってください。(図-11)

⚠ エアーパージを行う際の排出空気には、LPガスが混ざっていますので火気には十分注意してください。



(図-12)

5) 検査孔部の漏えい確認

[総検圧]

①各試験終了後、ガス栓のつまみを「閉」にしてください。

②キャップを手で本体にあたるまで確実に締め込む。

⚠ キャップの締め込みは、スパナ等で行わないでください。

⚠ キャップを取り付ける前に、Oリングが付いていること及び損傷の有無を確認してください。

⚠ Oリングが損傷している場合は、新品(Oリング)と交換してください。

③ガス栓のつまみを「総検圧」にして、漏えい検知液などを用いて、キャップ周りの漏えい確認を行ってください。(図-12)

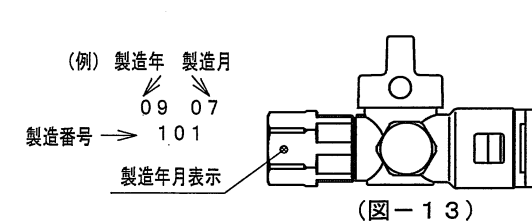
⚠ 漏えい検知液を塗布した場合は、錆などの発生を防止するため、よくふき取ってください。

⚠ 漏えい確認後に、あらためてキャップのゆるみのないことを確認してください。

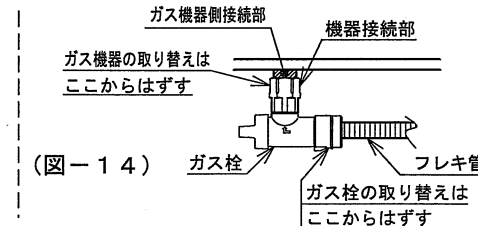
6. 設置後の維持管理

・LPガス設備の安全を図るために、ガス栓に数字で表示してある製造年月を消費者保安台帳に記録して、期限管理によって保安確保に万全を期してください。(図-13)

・この製品の交換期限は製造後15年以内です。また、交換期限内でも性能に異常が生じたときは新しいガス栓と交換してください。(製造年月は、ガス栓に表示してあります。)



(図-13)



(図-14)

⚠ 燃焼機器の取り替えは、ガス栓の機器接続部より行ってください。(図-14)

7. ガスを使用される方への説明事項

・取付工事完了後、ガス栓を使用される方に、別紙「ガス栓保証書」及び「LPガス用フレキ直接接続・検査孔付UI・ULガス栓取扱説明書」について説明し、内容を理解して頂いた後連絡先をご記入の上お渡しく下さい。
 ・このガス栓について、お気づきの点、ご不明な点などございましたら桂精機製作所までご連絡ください。

販売店



株式会社 桂精機製作所

本社 : 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1 (アーバンスクエア横浜)

TEL 045-461-2334